

はじめに



子どもは、社会の宝であり未来の力です。子どもが健やかに、たくましく、心豊かに育つことは、私たち大人の切なる願いです。

近年、国を中心に少子化対策を積極的に推進していますが、なかなか少子化に歯止めをかけることができません。少子化の直接の原因は、未婚化や晩婚・晩産化によりますが、その背景には、出産に対する価値観の変化や仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れ、子育てに対する負担感の増大などがあげられます。このため、働きながら子育てしやすい環境づくりや子育てに対する不安や悩みを相談できる場の提供など、子どもを生み育てることに楽しさや喜びを感じられるまちづくりを進めることが求められています。

本市においては、次世代育成支援対策推進法に基づき、平成 17 年に「静岡市子どもプラン」（前期計画：平成 17～21 年度）を策定し、子育て環境の整備など様々な取組を進めてきました。今般、前期計画期間の満了に伴い、この前期計画の達成状況の確認や評価を行うとともに、子育て家庭の生活実態や意識、サービスニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施し、さらに、市民意見を計画に反映させるための市民ワークショップやタウンミーティング、パブリックコメントなどを実施しました。そしてこの度、子どもが明るい未来に向かって育ってほしいという願いを込めて、「しずおか☆未来をひらく子どもプラン」（後期計画：平成 22～26 年度）を策定しました。

後期計画は、従来の「子育て支援」に加えて、子ども自らの育ちを支援する「子育て支援」、地域で子育て子育てを支援する「地域づくり」を基本目標とし、安心して子育てでき、子どもが健やかに成長するために、子どもを取り巻くすべての人々がそれぞれの責任と役割を認識し、相互に連携・協働しながら子育て子育てを支え合うまちづくりを目指しています。

今後、保護者をはじめ、地域や事業主、関係機関・団体などとともに、後期計画の着実な推進に努めてまいります。

最後に、後期計画の策定にあたり、静岡市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員の皆様にご尽力いただきましたほか、貴重な意見をいただきました市民の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

平成 22 年 3 月

静岡市長 小嶋 善吉

～目次～

第1章	計画策定における基本的事項	ページ
1	計画策定の背景、趣旨及び目的	1
2	計画の位置づけ	4
3	計画期間	5
4	計画の対象	5
第2章	静岡市の現状と課題	
1	少子化の現状	6
2	子育ての現状	12
3	現状分析のまとめ及び基本的な課題	43
第3章	計画の基本的な考え方	
1	基本理念	52
2	基本目標	53
3	施策目標	54
4	保護者、地域、事業主及び行政の役割	55
5	計画の体系	57
第4章	計画に基づく具体的事業	
1	施策目標1	59
2	施策目標2	76
3	施策目標3	87
4	施策目標4	113
5	施策目標5	125
6	主な子育て支援事業の平成26年度末目標	130
第5章	計画の推進について	
1	計画の推進体制	131
2	計画の進行管理	132
3	計画及び制度の周知	132

～資料編～

1	策定体制	
(1)	静岡市次世代育成支援対策推進会議設置要綱	1
(2)	静岡市次世代育成支援対策推進会議組織図	4
(3)	静岡市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員一覧	5
2	策定経過	
(1)	静岡市次世代育成支援対策推進会議（平成20～21年度）	6
(2)	静岡市健康福祉審議会及び児童福祉専門分科会（平成20～21年度）	8

☆本冊子に掲載されている「絵」について

本冊子に掲載されている絵は、市内保育園の園児（年長さん）が「ハッピーズ！！プロジェクト子育て来楽部」（※）イベントの会場へ展示するために描いてくれた絵です。作品のテーマは、「はたらくお父さん・お母さん」「だいすきなお父さん・お母さん」です。

☆本冊子に掲載されている「標語」について

本冊子に掲載されている標語は、「ハッピーズ！！プロジェクト子育て来楽部」事業の「きらり☆育児支援賞」の標語部門において表彰された作品です。作品のテーマは、「子どもの未来と健やかな成長を願って」です。

※「ハッピーズ！！プロジェクト子育て来楽部」

ハッピーズ！！プロジェクト子育て来楽部とは、静岡新聞社・静岡放送、静岡県及び本市などの共催により、子どもを産み、育てる社会環境に関する問題提起や情報発信、パパ、ママ、育児支援関係者のネットワーク構築を強力に推進し、楽しい子育て、静岡県の明るい未来を実現することを目指して実施しています。